

令和5年度 子どもさわやか賞 受賞団体の活動紹介



豊中市立桜井谷小学校 児童会（豊中市）

- ・児童会主体で、トイレ改修のため約180通の嘆願書を集め、市教育委員会 施設管理課長に直接手渡した。
- ・「学校全員で遊んでみたい」という子どもたちの声に応え、子どもまつりを開催。
- ・不要になったTシャツをマイバッグに「アップサイクル」する第3回SDGsギネス世界記録チャレンジに参加し、ギネス達成。

吹田市立吹田南小学校（吹田市）

福祉委員会委員と協力して、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯の皆様には年賀状を出している。3月には育てたパンジーの鉢植えを手渡し、リコーダーの演奏を行った。20年以上の活動で喜ばれている。

塩谷 佳子・塩谷 昌弘（茨木市）

近年、核家族化の影響もあり市内一斉清掃、地区運動会などの地域イベントへの参加者は世代を問わず減少傾向にあった。更に、この4年間はコロナウイルス感染症蔓延により公共イベントが激減し、地域交流が途絶えた。

イベントを再開するも、参加者が集まらない中でマンション草木の手入れをするボランティア団体が呼び掛ける花壇手入れに、積極的に参加。高齢者をはじめとする多世代との交流を行うとともに花と緑のまちづくり推進事業に貢献している。

箕面市立箕面小学校 福祉委員会（箕面市）

コロナ前までは6月に朝顔の鉢植えを、コロナ後は12月にパンジーとチューリップの鉢植えを、校区にお住いの高齢者にそれぞれの思いを込めて配布する事業を28年間継続している。

また、敬老の集いでの高齢者に向けたスピーチや募金活動、ペットボトルのキャップを集めて寄付をするなど、福祉活動への関心が高い。

一般社団法人 正徳館（守口市）

幼児から一般まで空手道を学ぶ団体だが、日頃は道場生が居住する周辺、学校の長期休みや休日は、道場のある校区を中心に美化清掃を通して地域交流に取り組んでいる。この活動を、【身施（しんせ）】と呼び、館長は雨天時以外は毎日実施、子どもたちに関しては決して強制ではなく、各々が動きたいと思ったときに動くことを大切に活動して5年になる。

身施を通して、『自分で考えて動く』ことの大切さ、素直な心や慈悲の心を育む素晴らしさを学びながら、地域の皆さんに必要とされ、熱く応援して頂いている。

柏原市立堅下小学校（柏原市）

5年生が地域在住の高齢者の方から昔遊びを学び、次年度入学する園児を学校体験に招き、教わった昔遊びを活用して交流を行っている。

また、校内探検や給食を一緒に食べる体験など入学準備としての機能もあり、園児や保護者の不安の軽減に繋がっている。コロナ禍でも屋外で出来る風揚げを行うなど工夫して、交流を続けている。



河内長野市立千代田中学校 防災と命について考える会（河内長野市）

- ・「もし大災害が起こったら」という設定で自分達に何ができるかを考え、研究するための組織として発足。今年度は、避難所生活に力点をおき、衣食住に関する体験から実際に何ができるかを考えた。
- ・体育館に避難する想定で、体育館で過ごす体験を実施。
- ・スクールカウンセラーとして数年東日本で過ごした講師の話の聞き、自分達にできることを考えた。
- ・ウクライナとロシアの戦争について調べたり8月6日の朝には、広島平和記念式典の様子を見て、広島で育った先生から被爆後の祖父母の話の聞き、命について考えた。
- ・小学校区まちづくり協議会からもらった防災マップを用いて危険予測を行った。

富田林市立第三中学校 生徒会 （富田林市）

日頃、お世話になっている地域への感謝をこめて、幼稚園児、小学生、中学生、地域の大人が共に校区を掃除する「町ピカ」を25年間実施している。

淡輪小学校キューピークラブ（岬町）

子ども懇談会にて、どうすれば町がよくなるか自分たちにできることを考えた子どもたちが「ボランティアをしたい」と、社協に相談したことがきっかけで始まる。

現在は小学校のクラブ活動となっており、高齢者、障がい者施設を訪問し、楽器演奏や合唱などを披露し、交流活動を行っている。

少林寺拳法岸和田滝スポーツ少年団 （岸和田市）

ペットボトルのキャップやアルミ缶のリングプルを日頃から収集し、農協や各町内の収集箱に持参している。小学校の清掃や草抜きも行っている。

児童養護施設 羽曳野荘（羽曳野市）

子ども一人ひとりが「将来の夢」を意識しながら生活すること、職員はその夢を応援することを目的として3年間取り組んできた。

テーマとして、1年目が「将来描く夢」、2年目が「将来の夢への道筋」、3年目は「将来の夢を叶えるために今すべきこと」と題して事前に職員と一緒に調べ、施設内での催しの中で小学校・中学校の教員を招待して、発表している。学校教員からも、その夢を応援するメッセージを頂いている。

住友 隼磨（島本町）

地域への貢献活動の一つとして JR 山崎駅ホーム下のトンネルにある水路の掃除を定期的に行っている。天王山の麓にあるため、大雨の後などには、大量の土砂により水路が詰まったり、溢れてしまうリスクがある。土砂災害を防ぐために必要な活動であり、地域からも感謝の声をいただいている。

